

医学、福祉研究 23件に助成金

川崎振興会

岡山県内の医学、医療福祉分野の研究者らを支援する「川崎医学・医療福祉学振興会」は2日、2024年度の助成対象23件に計575万円を贈った。

倉敷市松島の川崎学園で贈呈式があり、榑原彰夫理事長が承認書と助成金を代表者に手渡した。受賞者は研究内容を一人ずつ説明し、医師の業務を一部受け持つ「タスクシェア」を踏まえた看護研

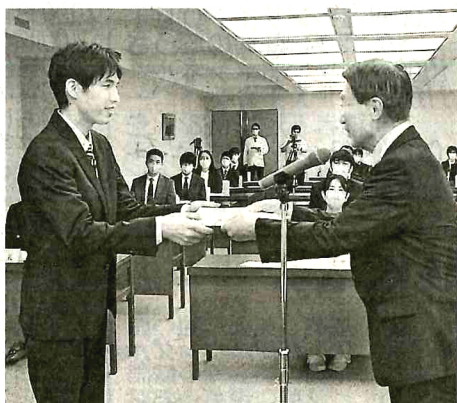
修の実践効果を検証する川崎医科大総合医療センターの河原今日子看護副師長(40)は「研究を病院の質の向上につなげたい」と話した。

振興会は03年の設立以来、今回を含め372件に計約9800万円を助成。本年度の申請は48件だった。

ほかに助成を受けたのは次の皆さん。(敬称略、地域連携・交流は代表者と事業名)

【教育研究】白居優、梶山裕太(川崎医科大)、福岡佑菜、中村博貴(同大大学院) 上原和也、森分良、吉田耕治、中

里紗(川崎医療短大) 【地域連携・交流】松生香里(第37回日本トレーニング科学会)、塩見達志(第56回日本臨床分子形態学会総会・学術集会) 山下真史(外来がん化学療法に関する研修会・仮) 芳賀佳子(2024年度地域看護職員を対象とした一般研修) 三宅映子(認知症サポーター養成講座・交流会など) (仁井名小百合)



榑原理事長から承認書と助成金を受け取る代表者(左)

磯彩果、菅野豊子(同大付属病院) 黒住菜美、片岡真吾、田中慎一、濱田大幹(川崎医療福祉大) 山本晃、宇田和宏(岡山大病院) 金恭平(岡山大) 時弘